

25番		長江 秀幸 議員	
項目	市長の施政方針説明と市政運営の基本方針について	項目	
<p>(要旨)</p> <p>1. 目指すまちの姿について</p> <p>(1)「市民参加のまちづくり」を進めていくということだが、どのような手法で市民の声を聴いていくのか現時点での考えを伺う。</p> <p>(2)「市民参加のまちづくり」また、「まちづくりは人づくり」の2点を胸に刻み、身を引き締めて、これからの4年間、市政運営を担わせていただくとのことだが、簡単なことではないと考えるが、どのように人材を育てていくのか、また、どのように参加していただくのか、その決意も含め方策を伺う。</p> <p>2. 暮らしの基本、「住む」「働く」「学ぶ」「育む」の要素について</p> <p>(1)「第6次瀬戸市総合計画」に掲げる将来像、「住みたいまち 誇れるまち 新しいせと」及び3つの都市像、「活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち」、「安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち」、「地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち」と方向性は一致しているとのことだが、「新たな視点を加えながら」とも述べられた。その「新たな視点」がとても重要であると考えているが、現時点での市長の考えを伺う。</p>		<p>(要旨)</p> <p>3. 目指すまちの姿の実現に向けての取り組みについて</p> <p>(1)「ごみ袋の値上げ凍結」について、「有料化については、ごみの減量を主たる目的として検討が始まりましたが、こうした背景やこれまでの経緯について、市民の皆さまにもっと深く理解していただく必要があった」と述べられたが、今後どのように市民への周知及び議論をしていくのか伺う。</p> <p>4. 暮らしの要素ごとの魅力向上に向けた施策について</p> <p>(1)「住む」環境の魅力向上に向けた施策について</p> <p>①障害者、高齢者、生活困窮者など、支援を必要とする人が利用しやすい福祉サービスの提供を図り、情報提供や相談体制の充実、サービスの利用促進、効率化、質の向上を進めていくとのことである。進め方については、支援を必要とする人の声を聴き、必要な施策について、組織・分野横断的な連携体制において、検討・実施していくとのことだが、これまでも検討されてきた分野だと思うが、案のようなものは持ち合わせていないのか伺う。</p> <p>②真に効果のある障害者施策については、引き続き、障害者に寄り添う姿勢を堅持するとともに、全庁を挙げて事業実施に取り組んでいくということによいのか伺う。また、先の市長選挙で、障害者手当の復活を訴えられたが、改めて見解を伺う。</p>	

25番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
(要旨)	<p>③地域での介護予防をはじめとする多様な介護サービスの提供、一人暮らし高齢者の新たな移動手段の検討、高齢者見守りシステムの導入などにより、高齢者が生きがいを持って活躍し、支え合いにより、地域で安心して自分らしく過ごせるよう、地域包括ケアシステムの進化・推進に取り組むとのことだが、市民の意見・要望等は十分に網羅されているのか伺う。</p> <p>④今年度、市民生活の利便性の維持・向上のため、陣屋線において、陶栄橋の付け替えに影響する雨水排水路の付け替え整備、幡中南菱野線において交差点の改良がおおむね完了し、新瀬戸市デジタルリサーチパーク構想地区への南進方向の整備を進めていくが、どのようなスケジュールで進めるのか、また、今後取り組むその他幹線道路、アクセス道路の整備について伺う。</p> <p>⑤豊かな自然が日常の暮らしの中に息づいていることが、本市の大きな魅力の一つであることは私も承知をしている。良好な自然環境の保全、次世代への継承などどのように進めていくのか伺う。</p> <p>⑥愛知県の事業で、プレミアム商品券発行事業を実施する市町村への支援をし、経済活動の活性化及び消費拡大を促進する「げんき商店街推進事業」が補助限度額を1.5倍に引き上げ拡充されている。現在の物価高騰対策にもつながり、有効的な事業と考える。本市としてもプレミアム商品券の発行等、推進していくべきと考えるが見解を伺う。</p>	(要旨)	<p>(2)「働く」環境の魅力向上に向けた施策について</p> <p>①企業誘致については、立地促進奨励金、再投資促進補助金を活用し操業できるようサポートしている。利用実績としても、平成29年度から令和3年度までの5年間で、立地促進奨励金が延べ26社、再投資促進補助金が延べ7社となっている。これらの事業所による投資額の合計は約430億円となっており、地域経済の活性化に大きな成果をもたらした。今後もこうした操業支援に引き続き力を入れていくのか伺う。また、何か他に新たな支援事業を考えているのか伺う。</p> <p>②ソフトウェアやロボット等、将来の成長が期待される産業や若い世代が本市で働きたいと思える企業誘致を目指していくと思うが、どのように進めていくのか伺う。</p> <p>③陶磁器製造など窯業関連産業と新たな技術・分野との融合・連携について、研究を進めるとのことだが、どのような融合・連携のイメージをもっているのか伺う。</p> <p>④中心市街地における賑わいの創出や、若い人たちをはじめとする多様な人材の活躍推進に取り組むとのことだが具体的にどのように進めていくのか伺う。</p> <p>⑤観光振興においては、新型コロナウイルス感染症の位置づけも5類となり今がチャンスである。おもてなしタクシーツアーなど引き続き好調のようであるが、その他具体的な戦略について伺う。</p>

25番		長江 秀幸 議員	
項目		項目	
(要旨)	<p>(3)「学ぶ」環境の魅力向上に向けた施策について</p> <p>①全市的に小中一貫教育を進め、郷土と自らに誇りを持ち、多様な他者と協働して課題解決のできる人づくりに取り組むとのことだが、具体的にどのような手法で進めていくのか伺う。</p> <p>②子どもたちの学びや生活に適した学校規模や環境整備に取り組むとのことだが、学びや生活に適した学校規模とは具体的にどのような規模なのか見解を伺う。</p> <p>③市は、令和5年1月末から2月上旬にかけて、小中学校における不登校児童生徒の実態に関する調査を行ったが、不登校対策は喫緊の課題と考える。現状の対応を伺うとともに、居場所づくりなど今後どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>(4)「育む」環境の魅力向上に向けた施策について</p> <p>①子育てサービスの整備充実について、切れ目なく行っていくとのことだが、具体的取り組みについて伺う。また、先の市長選挙でも訴えてきた医療費の18歳までの無償化、給食費の中学校まで無料にすることについてはどのように進めていくのか伺う。</p> <p>②子ども・若者センターにおいて、困難を有する子ども・若者やその家族に対し、専門的で切れ目のない支援を行っている。相談も多岐にわたると思うが、現状の対応について伺う。</p>	(要旨)	<p>③子ども・若者の困っている状況や抱えている悩みについて、相談したり支援が受けられるような体制の構築に取り組むとのことだが、現状の対応、取り組みに課題があるのか伺う。</p> <p>④子ども・若者が瀬戸市のことについて、自ら考え、意見を表明でき、実現できる場として「子ども・若者会議」を開催している。今後も定期的に開催していくとしているが、これまでの活動と課題について伺う。</p> <p>5. かたよらない市政の実現について</p> <p>(1) 子どもから高齢者まで、必要な施策を実施し、着実に進めるために市民の声を聴き、市の方針を発信・共有し、今後、どのような形が適切であるかについては、検討することのことだが、若者を支援するということは、ひいては高齢者を支援することにもつながると考えるが、どのように考えるのか見解を伺う。</p> <p>6. 限られた予算の中で目指すまちの姿の実現に向けての効果的・効率的な展開について</p> <p>(1) DXの推進について、令和5年4月以降、子育て関係で15の手続き、介護関係で11の手続き、計26の手続きがマイナポータルからオンライン申請が可能となった。まだ、始まったばかりであるが、その申請状況について伺う。</p>

25 番	長江 秀幸 議員		
項目		項目	
<p>(要旨)</p> <p>(2) 県の共同利用型電子申請システムを活用しての各種給付金等、オンライン申請可能な手続きを順次拡大していくと伺っているが、今年度はどの程度拡大を図っていくのか伺う。</p> <p>(3) バーチャル瀬戸について、今後、民間企業や各種団体、行政からなる共同事業体を設立して、民間活力を最大限に生かしつつ本市のものづくり文化を発信していくことで、商業、観光振興など活性化を図っていくとのことだが、スケジュールはどのようなか伺う。</p> <p>(4) デジタルトランスフォーメーション(DX)、ファシリティマネジメント(FM)、カーボンニュートラル(CN)について、国の方針に基づきながら、その中でも本市らしい取り組みを進めていくとのことだが、本市らしいということはどういうことで、何か特徴的なことを想定しているのか伺う。</p>		<p>(要旨)</p>	